

かがんが

議会だより No.156

令和5年度予算	…… P 2	議決結果	…………… P 8
1月臨時会	…………… P 4	視察・研修報告	…………… P 9
3月定例会	…………… P 5	一般質問	…………… P 10～
議案質疑・委員会質疑	…… P 6	あとがき	…………… P 24
議会のうごき	…………… P 7		

今年の新規注目事業

デジタル化(DX)の推進、SDGsの推進、安心安全なまちづくり、快適な都市基盤の整備、活力ある産業の振興、公共施設マネジメントの推進の6本柱

図書館サービスのデジタル化 約8720万円

自動貸出・返却機の導入、マイナンバーカードによる貸出、スマートフォン版としょかん利用券の導入



SDGs子ども議会 約12万円

町内の小中学生を学生議員として議場でSDGsに関する模擬議会を開催



はしご車共同運用事業 約9611万円

はしご車を行橋市と共同購入及び運用



安全で安心できる公園・緑地づくり事業 3770万円

老朽化している公園の施設や植栽の更新、維持管理と歴史資源の保全



臨空産業公園の整備 約1745万円

空港の見える公園「臨空産業公園」を新たな観光スポットとして整備



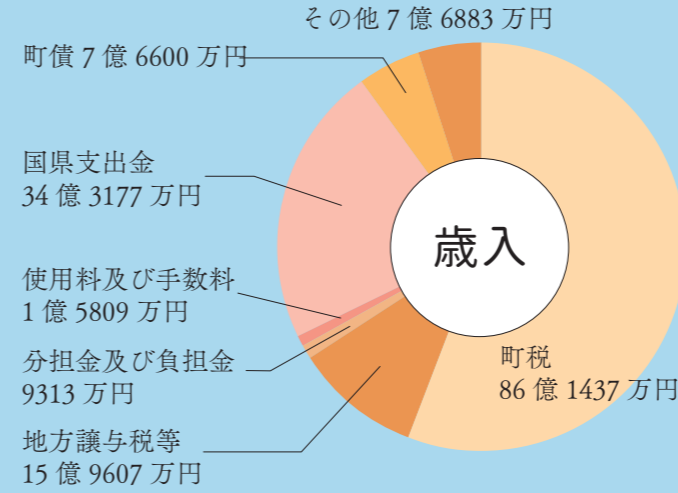
総合体育館改修工事 約5億7877万円

耐震化や空調設置を含む大規模改修

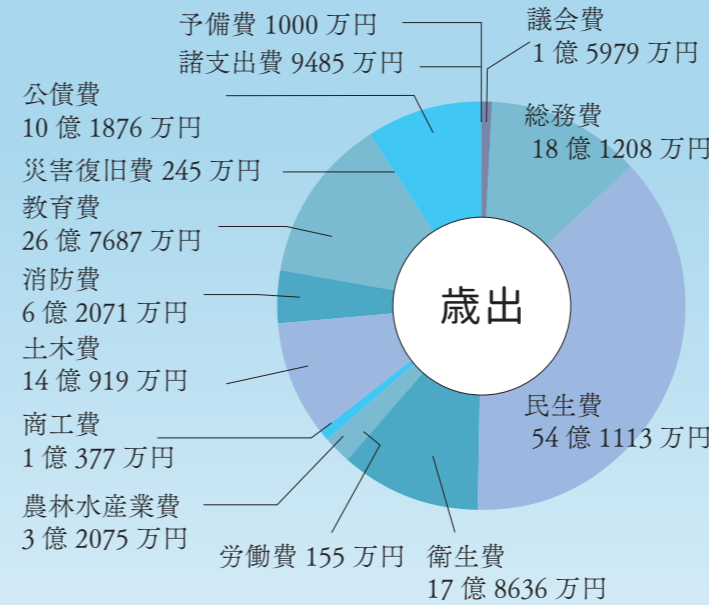


令和5年度予算

予算総額 154億2826万円
(前年度比約12億6942万円増)



3月定例会は、2月22日から3月23日まで開催、令和5年度予算をはじめ、条例の制定・改正や、人事案件などいずれの議案も可決しました。令和5年度の一般会計予算は、154億2826万円と前年度比9.0%の増で、過去最大



の予算となっています。予算特別委員会での主な審議内容は4ページに、議案に対する主な質疑は6ページに、付託委員会の審議内容は6ページに、議決結果は8ページに掲載しています。

		金額(万円)	前年度比
一般会計		154億2826万円	109.0% ↑
特別会計	国民健康保険特別会計	34億2046万円	99.7% ↓
	後期高齢者医療特別会計	5億7492万円	106.4% ↑
	介護保険特別会計	29億4931万円	100.1% ↑
	土地区画整理事業特別会計	9億3670万円	104.7% ↑
	住宅新築資金等特別会計	250万円	95.4% ↓
	苅田臨空産業団地開発事業特別会計	263万円	94.9% ↓
	京都郡公平委員会特別会計	101万円	104.1% ↑

12億円増の過去最大の予算

委員会質疑

予算

特別委員会

●一般会計予算(歳出)

【総務費】

Q 会計年度任用職員報酬の増額理由は。

A 人数の増加と給食センター職員の給与改定のため。

Q 電子入札導入業務委託料について、導入する理由は。

A 事業者が来庁せずに、パソコンやスマホから利用できる。ペーパーレスにもなる。

Q ふるさと納税に対する予算が増額となっているが、目標額は。

A 目標額は8千万円である。

Q 現在の空き家対策

の状況は。

A 空き家調査を行い9件の全壊・半壊の家屋を確認している。今後指導を行っている。

【民生費】

Q 私立保育園障害児保育事業補助金の増額理由は。

A 昨年度は8名であったが、今年度は10名を予定している。単価の見直しも行った。

Q 犯罪被害者等見舞金について、内容は。

A 条例を策定。遺族見舞金30万円と障がい見舞金10万円。

【衛生費】

Q 物価高騰で各委託料が上がっているのに、ごみ収集委託料が上がっていないが考慮はしなかったのか。

A 協議の上で決定し

た。次年度以降も改めて協議を行う。

【農林水産業費】

Q 農地流動化促進事業補助金の対象は認定農業者のみか。

A 農地に利用権を設定した方であれば申請可能。

【商工費】

Q 工場適地調査の結果は。

A 現在まとめの段階。3月末までに報告書を受け取る予定。

【消防費】

Q 自主防災組織の数は。

A 48行政区中34団体。

【教育費】

Q プール浄化装置保守委託料の変動が小さいが。

A 今年度は試験的に片島小学校のプール授業を町民プールで行うため、1校分減ったが、単価は上がった。

ている。

●一般会計予算(歳入)

【町税】

Q これ以上の税収は見込めないか。

A 可能性はあるが、ある程度の確実さをもって予算計上している。

●国民健康保険特別会計予算

Q その他一般会計繰入金は法定外繰り入れという認識でよいか。

A 本町の独自施策に対する繰入金。

●水道事業会計予算

Q 2か所の加圧ポンプ施設の老朽化への対応は。

A 若久ポンプ場の稼働が開始すれば、尾倉ポンプ場の廃止を検討している。片島ポンプ場については更新計画を立てている。

1月臨時会

1月26日

補正予算

令和4年度苅田町一般会計補正予算(第11号)は、8千866万円を追加し、補正後の総額は162億7千234万9千円。

議案質疑

●歳入

【繰越金】

Q 歳入の繰越金は当初予算編成時、いくら見込んでいたのか。

A 当初予算では繰越金は計上していない。

Q 繰越金の最終見込み金額はいくらか。

A 9月に確定した令和

3年度の決算剰余金8億3414万1千円を考えている。

委員会質疑

厚生文教

常任委員会

●一般会計補正予算(第11号)

●歳出

【民生費】

Q 園児はどのくらい増えたのか。

A 令和4年4月から令和5年1月で、202名の増加。

Q 待機児童はいるか。

A 現在はいない。

3月定例会

令和5年度一般会計予算等36件、発議1件を審議

2月22日 ~ 3月23日

補正予算

令和4年度苅田町一般会計補正予算(第12号)は、歳入歳出それぞれ5億4千626万9千円を追加し、総額は168億1千861万8千円。

発議

●議会の個人情報の保護に関する条例

【一般会計(第11号)】	4559万円
・私立保育園委託料	4150万円
・出産・子育て応援給付金	
【一般会計(第12号)】	
・庁舎の光熱水費	110万円
・補助金返還金	293万円
・介護保険特別会計繰出金	107万円
・し尿処理施設包括的業務委託料	1800万円
・ため池耐震調査委託料	500万円
・港湾整備事業負担金	3832万円
・土地区画整理事業特別会計繰出金	1億5452万円
・公民館の光熱水費	150万円
・公共施設整備基金積立金	5億1977万円
・企業立地奨励金基金積立金	2億円
【国民健康保険特別会計第5号】	7889万円
【後期高齢者医療特別会計第3号】	1130万円
【住宅新築資金等特別会計第1号】	262万円

個人情報の保護に関する法律が改正されたため、新たに制定。

条例制定

●個人情報保護法施行条例

個人情報の保護に関する法律が改正されたため、新たに制定。この改正により、法律が直接、町に適用。これに

伴い、苅田町個人情報保護条例は廃止。

●新庁舎建設検討委員会条例

新庁舎建設に関し、検討委員会を設置。

条例改正

●情報公開・個人情報保護委員会設置条例

個人情報の保護に関する法律の改正に伴う所

要の改正。国の個人情報保護委員会が直接関わることとなる。

●議会議員及び苅田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

選挙運動における公費負担の限度額を増額。

●職員の服務の宣誓に関する条例

●教育委員会職員の服務の宣誓に関する条例

国家公務員の服務の宣誓に関する内容が改正され、本庁職員及び教育委員会職員の服務の宣誓の実施方法を変更。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

民法の懲戒権の規定が削除されたことに伴う

所要の改正。

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童の安全確保の強化策で、安全計画の策定や、自動車で移動する場合の児童の所在確認などを義務付け。

●苅田町重度障がい者医療費の支給に関する条例

住所地利例の対象施設を拡大するもの。

●国民健康保険条例

出産育児一時金を8万円引き上げ48万8千円へ。

その他の議案

●町道路線の認定

都市計画法第40条の帰属に伴う道路を道路法に基づき町道として認定する。

人事案件

●人権擁護委員の推薦
いまばやしゆり
今林ユリ氏、沖永圭子氏、金谷清志氏の再任
●固定資産評価審査委員会委員の選任
ふくしま 均氏の再任

追加議案

●令和5年度苅田町一般会計補正予算
新型コロナウイルス感染症の追加接種に要する費用。

【条例改正】

●介護保険条例
コロナの影響で収入が一定程度減少した被保険者に保険料の減免。

議案質疑

新庁舎建設検討委員会条例の制定

Q 新年度予算に計上されている費用の内容と、委員会の終了は。

A 委員長報告等4回を予定。建設が終了し全てが整理されれば解散となる。

Q 耐震基準を満たしていないのはなぜか。

A 建設時は満たしていたが、震災後、建築基準法が変わり適合していない。

Q 耐震基準を満たせば100年持つのか。

A コンクリート建築は、約60年。

職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正

Q 上程した理由は。

A デジタル化、押印廃止という社会の流れを受け上程した。

Q 全国の市区町村が行っているのか。

A 改正は、約2割。

委員会質疑

総務

常任委員会

● 個人情報保護法施行条例

Q 個人情報の保護に関する法律に関しての条例を定めるものか。

A 保護法の改正により、町に適用されるため条例を定める。

● 議会議員及び苅田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

Q どのように変わったのか。

A 自動車借り上げ料、燃料費、選挙ビラ作製単価、ポスター作製単価、基礎額に変更があった。

● 新庁舎建設検討委員会条例

Q 委員の構成と根拠は。

A 委員構成は、民生部門、産業建設関係、教育部門、総務系より12から13名。町民代表を2から3名。他の自治体を参考にバランスを考えた。

● 職員のサービスの宣誓に関する条例

Q 消防職員の宣誓書の規約に「消防職務に優先して従うことを要求する団体又は組織に加入せず」とあるが、団体組織とは。

A 労働組合など。

● 一般会計補正予算(第12号)

【総務費】

Q 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の対象者数は。

A 454世帯。

【消防費】

Q 福岡県救急医療電話相談事業経費負担金の全額、減額の理由は。

A 県の要請により、当初予算で計上していたが、県に予算が付いたため、全額不要になった。

● 歳入全般

Q 町税の最終見込みは。

A 約89億円。

産業建設

常任委員会

● 一般会計補正予算(第12号)

【農林水産業費】

Q 「ため池」の耐震調査の状況と今後の方向性は。

A 耐震調査の対象となる町内28ヶ所のため池について、6ヶ所の調査を終えており、来年度新たに2ヶ所の調査を行う。

● 要望 多面的機能支払交付金について、地域が継続して取り組みができるよう、また、できるだけ多くの方に参加してもらえるよう、所管課の指導をお願いしたい。

厚生文教

常任委員会

● 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

Q 安全計画の内容は。

A 放課後児童健全育成事業所の職員に対して、安全に対する指導、研修及び訓練を行うための安全計画である。

Q 条例制定の背景は。

A 保育所での通園バスの置き去り事故を受けてである。

Q 業務継続計画の内容は。

A コロナ等で業務が止まった時にすみやかに業務を継続するための計画である。

● 重度障がい者医療費の支給に関する条例

Q 入所等の意味は。

A グループホームの施設の場合、入居と言うため、入所等と記載している。

● 一般会計補正予算(第12号)

【民生費】

Q 障害児通所給付費の減額理由は。

A 減額の理由は、執行額に伸び率をかけた見込みほど達成しなかったため。



町民温水プール

【衛生費】

Q し尿処理施設の電気代と灯油代の増加の説明。

A 電気代と灯油代の値上がりによる。補正の内訳は電気代は1200万円、灯油代は600万円の不足である。

【繰越明許費補正】

Q 町民温水プールパワーコンディショナー

ナー取替工事の説明を。

A 太陽光をパネルから取り込んで電気に変える装置が故障しており、その交換予定だったが、半導体不足のため、装置が入らなかった。

Q プール建設後、初めての交換なのか。

A 初めての交換。

議会のうごき

12月	16日 21日	議会広報特別委員会 (155号の企画・編集) 厚生文教常任委員会 (厚生文教常任委員会の今後について)
1月	6日 12日 13日 17日 18日 23~24日 26日	議会広報特別委員会 (155号の企画・編集) 町村議会議員研修会 「市長経験者が明かす！行政を動かす質問の極意」 議会広報特別委員会 (155号の企画・編集) 議会運営委員会 (区長連合会からの陳情について) 産業建設常任委員会 (小波瀬西工大前駅周辺整備について) 厚生文教常任委員会視察 (大阪府貝塚市、兵庫県尼崎市) 全員協議会 (令和5年第1回臨時会提出予定議案について)・議会運営委員会 (令和5年第1回臨時会について)・令和5年第1回臨時会・厚生文教常任委員会 (付託)
2月	1日 6日 9日 13日 15日 17日 20日 22日 27日	総務常任委員会 (行橋市および苅田町におけるはしご自動車の共同運用・苅田町犯罪被害者等支援条例について) 厚生文教常任委員会 (総合保健福祉センターと総合福祉会館視察) 行橋市行政視察受入れ (議会改革調査特別委員会) 議会運営委員会 (3月定例会について) 全員協議会 (令和5年第2回定例会提出予定議案について) 議会広報特別委員会 (156号の企画・編集) 議会運営委員会 (令和5年第2回定例会について) 厚生文教常任委員会 (パンジープラザと総合保健福祉会館について) 議会開会・予算特別委員会 (正副委員長選出) 議案質疑
3月	6・7・9日 13日	一般質問 付託委員会
	14・15日 23日	予算特別委員会 閉会・議会広報特別委員会 (156号の企画・編集)

6月定例会の予定

- *会期は6月7日(水)から6月23日(金)まで
- *一般質問は6月15日(木)・16日(金)・19日(月)
- *問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

議会中継アクセス件数

3月末時点アクセス件数
(令和4年4月からの累計)

ライブ中継 1085件
録画中継 2029件



一般質問内容一覧

3月定例会において
13名の議員が質問

質問者氏名	質問要旨	掲載
末石 伸二	1. 予算編成 2. マスクはいつまで	11 ページ
岩谷 潔	1. 都市計画道路の見直しについて 3. 新年度予算編成	12 ページ
白石 学	1. 新規SDGs推進事業 3. パンジープラザ	13 ページ
友田 敬而	1. 本町の産業の展望 2. 交通結節点の本町その特徴を将来のまちづくりにどのようにいかすのか 3. 北九州市も物流拠点構想を作っている本町の現状と展望は本町の経営は	14 ページ
尾形 均	1. 自治会の現状 2. 住みやすい、住んでよかった町とは	15 ページ
花見 文敏	1. 町の情報発信について 2. 地域コミュニティについて	16 ページ
武内幸次郎	1. ごみ処理の現況と課題について	17 ページ
松蔭日出美	1. 本町の目指す町作りは	18 ページ
井上 修	1. 新庁舎建設基本構想について 2. JR小波瀬西工大前駅について 3. パンジープラザ廃止の検討及びくすの木作業所について 4. 野生動物について	19 ページ
坂本東二郎	1. 白川北部地区の下水道整備について	20 ページ
小山 信美	1. 女性の就労支援 2. おくやみコーナーの設置 3. 書かない窓口の推進	21 ページ
村上 智宣	1. 小波瀬西工大前駅整備事業について 2. 地域の安全対策について	22 ページ
梶原 弘子	1. 補聴器購入助成金制度を 2. 子どもの安心安全対策 3. 国保税について	23 ページ

一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。なお、一般質問の録画映像は、苅田町議会ホームページでご覧いただけます。

Q 町長の政策や公約は反映されたのか

A 網羅できたと思っ

末石 伸二 (飛翔の会)

今年度の予算達成状況

先順位もある。それらを踏まえて考えていきたい。

Q 本町で起こり得る大規模災害に対応できる備蓄体制の構築状況は。

A 県の地震に対する防災アセスメント調査報告書に、小倉東

断層を起因とした地震による被害者数が本町で384人と想定されているため、400人分を確保している。

Q 今年度の次世代自動車購入補助金の実績は。

A 2月末現在で、台数は41台、交付金額は601万円。

Q 令和5年度の予算に繰り越してできるものを検討したい。

A 予算不足となった段階で、補正予算等により対応することを検討したい。

Q 庁舎の急速充電器更新により、有料化となるが、現在の電気代高騰と次世代自動車普及促進を踏まえ、無料化の継続を願いたい。

A 無料が3月末まで

新年度予算

Q 新年度予算に小波瀬西工大前駅周辺整備事業がないが。

A 進捗報告を受けながら、年度のどこかで補正予算を組んでいきたい。

Q SDGs推進事業とは。

A 11月以降に、SDGsシンポジウムやSDGs子ども会議の開催を予定している。

Q 公園施設の長寿命

化対策事業とは。

A 長寿命化計画を作成中。国費を活用し、10年程度の予定で、施設の更新を行っていく。

Q 新規事業に臨空産業団地内公園整備もあるが。

A ベンチ等を設置し、港の見える公園として整備を行う。憩いの空間を演出し、新たな観光スポットをつくる考えである。

Q 公園内のスリーオンコートフルコー



臨空産業団地内公園

トにしてほしいとの要望を聞くが。

A 費用面や整備の優

先順位もある。それらを踏まえて考えていきたい。

Q 令和5年度の予算に繰り越してできるものを検討したい。

A 予算不足となった段階で、補正予算等により対応することを検討したい。

Q 庁舎の急速充電器更新により、有料化となるが、現在の電気代高騰と次世代自動車普及促進を踏まえ、無料化の継続を願いたい。

A 無料が3月末まで

Q 工場適地調査の進捗状況は。

A 現在、各候補地の相対評価をおこなっており、6月議会に報告予定である。

Q 苅田小学校の放課後児童クラブの進捗状況は。

A 工期が5月31日までとなっている。

Q 4月からの新入学生への対応は。

A 放課後は使用しない英語ルームを2カ月借用し、6月から新施設での運営としたい。



Q 都市計画道路の見直しは

A 対象路線を抽出した段階



岩谷 潔 (飛翔の会)



都市計画道路の見直し

Q 対象路線は。

A 小波瀬停車場線・南原殿川線・苅田港循環線・長畑松山線の4路線。

Q 見直し路線以外は開発を進めていくのか。

A 必要性を感じている。

Q 道路整備の優先順位は。

A 決めていない。状況を判断しながら事業に着手する。

提言 進捗率はまだ半分程度。早急な対応で整備事業に取り掛かり効果的な道路作りを進めてもらいたい。

A 防災上ふさわしくない。

苅田中学校施設等個別施設設計画

Q エレベーター設置やバリアフリー対策を継続していくとあるが、全校校対象か。

A 全校校ではなく、必要に応じて設置。

Q 苅田中学校の体育

Q 苅田中学校の改修工事の際、体育館を土砂災害危険地域から外さないといけないのでは。

A のり面を押さえる工事は行っている。体育館に被害が及ぶことは想定しがたいが避難場所としては問題がある。

Q 他の公共施設個別

計画は細かな計画が立てられているが学校施設はない。

A 学校運営上の特性があり、5年ごとに区切って計画を立てている。

Q 今後5年で6校の部位修繕と長寿命化改修とあるが、年間予算約4億円が優先順位通り改修できるのか。

A 予定通り進めている。

Q 学校施設は児童生徒が毎日使う。現時点で校舎壁面のひび割れやコンクリート破片の落下跡がみられるが、大丈夫なのか。

A 高所作業車で打音検査や落下跡の処理を行っている。

Q 他の公共施設より細かな配慮が必要と思うが。

A 稼働率も高いことから気を配り対応していく。

デジタル化の推進

Q 推進する目的は。

A 住民の利便性の向上・業務の効率化。

Q 今までのデジタル化で利便性の向上を検証したのか。

A 24時間行政手続きができ、便利になったという声を多く聞く。

Q セキュリティー対策は。

A 今のところ問題ない。職員に対してもセキュリティー研修

を行っている。

Q デジタル化に向けて職員のスキルアップ・意識改革は。

A デジタル化を柔軟に受け止めてもらう働きかけをし、効果が出ることを周知していく。

Q 国のデジタル専門人材派遣制度は活用しているか。

A CIO補佐業務をお願いし、定期的に応援を受けられている。

提言 町民の利便性向上になっているのか検証し、デジタル化の推進を図ってもらいたい。



苅田町 HP のデジタル窓口

Q SDGs子ども議会の取り組みは

A SDGsに関する模擬議会を開催する



白石 学 (公明党)



Q 子ども議会の具体的な内容は。

A SDGsの普及啓発活動の一環として、子ども議員に、一般質問形式を考えている。

Q 子ども議会の対象者は。

A 小学校高学年から中学生の間だ。

Q 参加人数は何人を予定しているのか。

A 議場のイメージはあるが、今後協議する。

Q 開催は、小学校

中学校一緒にするのか別々か。

A 開催方法は一緒か、学年別か、今後検討する。

Q 色々議論が出てきたとき、町職員のかかり方は。

A 教育委員会と検討し、形していく。

Q 小中学校との連携、募集等、教育委員会との話し合いはこれからか。

A 素案をもとに、校長会と協議をし、可能な部分を選択する。

Q 子ども議会で提案・提言があつた場合、予算も含め対策は。

A 町として、政策に取り組んだほうがいいものは、検証、協議し形にしていく。

Q 山形県遊佐町は少年議会があり、予算もある。本町においても検討は。

A 初めて取り組むもので、常設化など、前向きに今後展開を図っていく。

提言 子ども議会が軌道に乗れば、将来「若

者議会」の設置を検討していただきたい。

新庁舎基本構想

Q 新庁舎建設の基本的な考えは。

A 令和5年度に基本構想、6年度に基本計画を策定する。

Q 貝塚市は、少ない財政負担で、よりよい住民サービスができるPFI方式を取り、14%コスト削減したが。

A 14%の削減は非常に大きな効果だ。参考にしたい。

Q ライフサイクルコストの削減と将来的には、耐久性の優れた材料等、維持管理・修繕を前提に検討する必要があるので。

A 耐久性や汎用性の高い品物で維持管理

費が低減される。参考になる意見だ。

Q 新庁舎の建設場所は、現庁舎周辺、磯浜緑地周辺、城南団地周辺と以前の資料にあるが。

A 具体的な位置は、現時点では全く白紙

だ。

Q 新庁舎は、防災の点からも早い建設ができないか。

A 令和12年度までには建て替える。



Q 本町の産業の展望は

A 持続可能な産業の街を目指す



友田 敬而 (大樹会)



Q 具体的には。

A 立地、雇用促進奨励金など奨励施策の活用や、人材確保の取り組み等を通じて既存企業の進行に努めていく。

Q 本町の特徴を街づくりにとどのようにかすのか。

A 本町は陸海空の結節点。このポテンシャルを最大限に生かし、さらなる企業集積を進めることによって雇用の確保、住環境の充実を進めることで

住みやすい町、苅田を目指す。

Q 次世代の産業として北九州市は物流拠点構想を進めている、本町の現状と展望は。

A 北九州市の構想は、本町の産業を補完するものとして非常に重要なものと考えている。

Q 我々の使命は、次世代に豊かな町を引き継ぐことと考えるが、町長の所信を問う。

A 陸海空の結節点と

してのポテンシャルを生かして、企業が国際競争力を勝ち抜けるよう柔軟に対応し、産業構造をより強固なものにしていく必要がある。ハード・ソフト両面においてきめ細かな支援を行っていく。

Q 将来の産業構造の青写真を具体的に。

A 町民の就労確保の観点から製造業を中心に誘致を進め、立地企業に対しては、各企業の課題を把握

し、一緒に考え解決していききたい。

Q 町としてどのような支援が大切か研究していないのか。

A 各方面から話を聞き、考えていきたい。

Q 現時点でどのようなリクエストが上がっているのか。

A リクエストや課題のヒアリングは行っていない。

Q 本町が不交付団体を続けるというのは固定資産税によるものとは認識している。いま、SDGsという大きな波がやってきて、企業の撤退という動きも本町でみられる。財政面で不交付団体の維持についてのシミュレーションは。

A 今後5年・中期的な見通しは行っていない。

Q 自治会加入率の現状について

A かなり低下している



尾形 均 (無党派)



Q 自治会とは。

A 永年、住民自治の地縁団体として存在。

Q 自治会は危機に直面している。本町の加入率は。

A 54・8%。8年前は65・9%である。

Q 近隣市町の加入率は。

A 行橋市78%、みやこ町86%。

Q 加入率がここまで低下したことは地域力の低下につながるのではないか。

A そのことは否めない。

い。社会的背景も変わってきている。

Q 時代の変遷とともに地域が必要ない、という人々が増えてきた。これではコミュニティがなくなるのでは。

A 地域での触れ合い、福祉活動、防災、防犯等での自治会の役割は大切。

Q これ以上加入率が低下しないようにすべき。行政が何をしているか見えてこない。

A 区長会と加入促進事業の在り方、実施につき検討会を開催。

Q 効果については。

A 昨年より地域づくりセミナーを始めたばかり。自治会の必要性を研究中。

Q 加入しない理由、脱退する理由、これらを検証しては。また、加入するメリットを示しては。

A 転入時にパンフレットを渡し声掛けをしている。

Q 自治会に補助金を

支給する方法もあるのでは。

A 効果を検討し、考えたい。

提言 町民間の不公平感を取り除くため、防犯街灯料金は町が全額負担すべきだ。

住みやすい、住んでよかった町

Q 住みやすい、住んでよかった町。何を基準に定義しているか。

A 主観、価値観で大きく変わる。教育、産業、子育て、安全、防災、都市基盤、交通等々。

Q 住みやすいということとは人口増加に繋がる。これには子育て、教育に力を入れるべきでは。

A 本町では保育料減

る。しかし、安定的な財政運営については行っていない。

Q 脱炭素化が叫ばれているが、本町の企業に大きな影響があるのでは。

A 昨年度、カーボンニュートラル条例を作り、脱炭素化の支援を行う準備はしている。

Q みやこ町が「今までの100年、これからの100年」というテーマにした街づくりのシンポジウムを行う、本町は。

A みやこ町がシンポジウムを行うことは承知している。本町での計画はしていない。



上空から見た苅田町

Q 千葉県流山市では若者対策で給付型、配布型よりも子育てインフラ整備に力を入れ、人口増加率が

6年連続日本一だが、これら施策は国県の動向を見ながら本町としてやるべき事を考える。



自治会加入促進

町の魅力発信は

広報紙や SNSなどを利用



花見文敏 (高志会)



町外者に向けた魅力発信が弱いように感じるが。

今のところ町内向けを中心に行っている。

町のイメージは重要である。観光分野での取組みは。

観光協会職員による情報発信スキルが向上する取組みを行っている。

等覚寺の松会や荇田山笠など全国に宣伝を。

情報発信が鍵となる

るので、発信している。

ふるさと納税の特産品活用は町の絶好の宣伝になる、特産品の宣伝は。

コロナ等の影響でイベントに参加できていない状況。

ホームページのリニューアルの予定と閲覧数は。

更新は来年度、令和3年度閲覧数は約332万件。

魅力的なインパクトのあるホームページ

制作してほしい。

シティープロモーションとは。

地域の魅力を内外に対してPRし、地域と経済を活性化させる活動のこと。町の広報活動や営業活動。

町の認知度を向上させ、選ばれる自治体となるためにも、町の魅力発信をどう行っていくか考える必要があるのでは。

タブロイド広報誌を発行し、町の知名度

度向上、イメージアップを図る。

今まで町の広報大使や観光大使になった人はいるのか、取り組みを進めては。

いないが勉強していきたい。

町の魅力発信に力を入れていき、イメージアップを図っていくべきだと思うが。

町の魅力発信について、強化を図りたい。

シティープロモーションを取り入れ、町のイメージアップを図ってほしい。

地域コミュニティ

地域コミュニティの重要性についてどう考えているか。

地域のつながりを取り戻そうと色々な施策を打っている。

ごみ処理は永遠のテーマだ

将来を見据えた対応策で



武内幸次郎 (大樹会)



本町のごみ対策の現況は。

本町では、細かい分別により、可能な限りロスが出ないよう努めている。

ごみ国内総排出量は東京ドーム約112杯、一人当たり一日900gと言われている。本町はどの程度か。

全国平均より多く950g。企業集積で昼間人口が多いのが要因。

本年度、塵芥処理

費は9億800万円だ。県下95%の自治体が有料化だ。今後の方向性は。

ごみ減量化の推進や処理施設更新も含め課題に向け検討している。

消費社会から循環型への目標3R社会の推進が必要。リサイクル率の全国平均は20%程度だ。本町は。

20%程度で推移している。

一般廃棄物処理計

画策定が義務付けられた。処理計画の中心身はどのようなものか。

住民一人当たりの目標値や3Rの取り組み、ごみ処理方式等の基本的な計画だ。

廃棄物は混ざればごみ、分ければ資源。収集細分化や洗浄強化などの指導啓発は。

住民には浸透しつつあるが、引き続き指導啓発に努めたい。

洗浄されない容器は夏場は異臭がする。

討は。

施設が老朽化しており重要な検討課題と認識。検討委員会で詰めていく。

ごみ処理の運営方式として委託、広域化、単独、公設民営などが考えられるが。

最終検討段階だ。

処理法は焼却方式が大半だが、どの方

式も一長一短ある。検討状況は。

焼却方式とRDFの継続も選択の一つと考えている。また、微生物分解方式も勉強中だ。

ごみ処理は自治体の責任だ。次世代を見据えた施策を願う。



かんだエコプラント

世帯数の減少や高齢化が進み、資金力がない区もある。老朽化が進んだ集会所の対応は。

町の補助制度は他の自治体と比較しても手厚いものとなっている。防災の観点で国の補助制度等を調べてみる。

資金力が乏しい区があるなか、区民の負担を少しでも減らすように考えていきたい。

新築はそうである。

48区中45か所。老朽化が進んでいる各区の集会所数は。

把握していない。

集会所建て替えの町補助金は、補助率3分の2、上限2000万円が。



荇田町の各種パンフレット

Q 本町の財政状況は

A 円滑な財政運営と なっている



松蔭日出美（無会派）



パンジープラザ

Q パンジープラザの
廃止について。

A 令和8年度末の廃
止に向けて、現在、
パンジープラザにあ
る事業者や団体と協
議を行っており、パ
ンジープラザの代わ
りに総合福祉会館を
活用できないか検討
を行っている。

Q パンジープラザ廃
止の理由は。

A 建物の老朽化によ
る維持管理に多大の

費用を要することや
立地などを総合的に
考え、検討を始めた。

Q 建物を造る時は、
立地を考えなければ
ならないと思うが。

A 意見を踏まえて、
建物を建設するよう
にしたい。

Q パンジープラザの
代替施設は。

A 代替施設として、
総合福祉会館を考え
ている。建物は小さ
いが、色々工夫しな
がら利用していただ
くよう考えている。

固定資産税

Q 固定資産税の税率
について。

A 昭和62年から段階的
に下げている。平成2
年に現在の1.4%と
なっており、国の標
準税率として現在も
この税率で税の徴収
をしている。

Q 現在まで1.6%の
税率で徴収してい
たら、どのくらいの収
入が見込めたのか。

A 約210億円程度
と考える。

Q 今後も税率は変わ
らないのか。

A 現行の1.4%が標
準税率である。税率
をあげると、企業誘
致の競争力に影響す
る。また、新型コロナ
ナウィルスにより社
会が疲弊しているこ
とから、当面、現在
の税率は変えない。

Q 税率を1.6%にし
ないのか。

A 現在の税収の範囲
内で、様々な施策や
住民サービスの提供
を継続し、目配り気
配りをしながら財政
運営を行っていく。

自動車産業

Q 自動車産業の支援
は。

A 本町には大きな自
動車産業がある。自
動車産業の振興によ

Q JR小波瀬西工大前駅の 進捗状況は

A 実現へ向けて 継続的に協議中



井上 修（飛翔の会）



新庁舎基本構想

Q 当初予算で業務委
託料750万円を計
上しているが、主な
内容は。

A 町民の意見を聞き
新庁舎に必要な機能、
規模、整備手法等を
まとめた基本計画を
予定している。

Q 建設場所は現在の敷
地なのか。本町の司令
塔と考えると高台に
移転を希望するが。

A 令和5年度に検討
する。

Q 本町は不交付団体
であるが国による補
助金はあるのか。

A 庁舎の耐震化の補
助金はあるが、新庁
舎にはない。

Q 現庁舎を耐震化し
た場合の概算費用は。

A 平成29年時点では
耐震改修のみで
4億2千万円と試算。

JR小波瀬西工大前駅

Q 議員全員協議会で
の資料説明では前回
と計画が違っている。

地権者に説明する必
要があるのでは。

A 計画が決定したわ
けではないので、地
権者への説明は行っ
ていない。

Q 鉄道事業者との協
議中の内容は。

A 線路とホームを改
良し駅舎を移転させ
ることができるとの
確認が必要がある。

Q 鉄道施設の変更に
ついて、県との協議
は。

A 現段階では行って
いない。

Q 駅の21億2000万
円の予算は。

A 概算費用である。

パンジープラザの廃 止検討

Q 社会福祉協議会に
事前説明はしていた
のか。

A 非公式ではあるが
連絡している。具体
的には2月21日に報
告をしている。

Q 人件費を除いたパ
ンジープラザの年間
維持管理費は。

A 5400万円。

Q 工事による維持管
理費は。

A 年間1億5千万円。

Q 総合福祉会館に移
転と聞くと耐震補強
はされたのか。

A 新耐震基準での建
設である。

り本町が発展してき
たことは事実だ。支
えていくことは非常
に大切だと考える。
現在、次世代の自動
車に注力しており、
電気自動車購入につ
いては本町独自の補
助金制度もある。

Q 公用車について。

A 自動車産業支援の

一環として、電気自
動車を2台購入して
いる。今後も計画的
に購入していきたい
と考えている。

提言 税金により町が

成り立っている。そ
れを踏まえて町政を
運営すべきだ。



パンジープラザ

くすの木作業所

Q 令和4年度から令
和8年度の障がい者
長期計画の施策に、
共に生きる地域づく
りを進めるといっ
とだが。

A 社会福祉協議会に
投げかけ議論を行っ
ている。

有害鳥獣対策

Q イノシシの箱わな
を設置すべきでは。

A 駆除員が判断し、
町内各所に設置して
いる。

Q 駆除員は何名か。

A 5名で活動してい
る。



小波瀬西工大前駅

Q 白川北部地区の 下水道整備計画は

A 戸別合併処理 浄化槽にてやりたい



坂本東二郎 (高志会)



Q 令和5年度予算で合併処理浄化槽助成金が大幅増になっていくが、その狙いと効果は何か。

A 白川北部地区に浄化槽を入れてもらうための上乗せ補助がある。

Q 例年、北部地区での申請は何件か。

A 今年度実績は、葛川で10件程度。

Q 例年の10倍の件数を想定しているとのことだが、その背景は。

A 葛川の旭ヶ丘地区が処理場運営に困っている。個別合併型のほうが早く水洗化が進むと判断し、計画変更した。

Q 地元4区長名から、地域格差が出ないよう早期着手を願う陳情がなされていたと思うが。

A 陳情は受けている。以前、現在は財政状況が厳しいが、実施する際には年間2億円程度の投資を行い、面整備をする

と、以前町長答弁があつたが。

A その時はその思いであつたので、そのような答弁をした。

Q 信じていた地元に対し、先日地元説明の方針転換は、町の押し付けではないか。

A 旭ヶ丘地区の住民から窮状を訴えられ、産業建設常任委員会に戸別合併型で整備すると説明し、了承を得て地元説明を行った。

Q 地区住民の意思をどう確認したのか。

A 住民の代表である議会の合意を得た上で説明を行った。順番としては間違っていない。

Q 住民意思を反映するのは、あくまで区長である。その意見を聞かず、一方的に自分たちの考えを押し付けることは民主主義ではないのでは。

A 議会に説明し、了解の上で区長に説明を行った。手順として間違っていないと思っている。

Q 戸別合併処理浄化槽は、設置に係る費用を個人で負担する不利益な施設。役場が責任を持つ面整備を再考してほしいが。

A 農業集落排水の整備には時間がかかる

ため、浄化槽での整備とした。上乗せ補助のメニューも作成した。
提言 議会はお互いが建設的な提言を受けとめながら、いかに前向きに困難に立ち向かっていくかの場でありたい。



農業集落排水処理場

Q 女性デジタル人材の育成を

A 意義深い取り組みと認識



小山信美 (公明党)



Q 女性の経済的自立に向けた取り組みは。

A ホームページや広報紙にオンライン講座を周知。

Q コロナ禍における非正規就労の女性への影響については。

A 影響は出ている。新しいスキルを身につける必要がある。

Q デジタルスキル向上や就労支援に活用できる地方女性活躍推進交付金の活用は。

A 他自治体や民間企業の先進事例を調査

研究したい。

Q 就労のためのコワーキング施設(※)など環境整備については。

A 商店街の方々と協議をしていく。ひとり親家庭等の就業訓練の周知は。

A ポスターの貼付、ホームページで周知。

Q 各部署にデジタルに意欲的な職員の配置はできないか。

A 現在は、考えていない。

Q 全職員のデジタル

研修は。

A 行う予定である。

おくやみコーナーの設置

Q 前回の質問で役場のシステムが課題とされたが、解決方法と今後の方向性は。

A 検討していない。

各課を回る手続きだが負担はないと思う。

Q ガイドブックの作成はできないのか。

A 調査研究していく。

書かない窓口

Q 窓口申請の現状は。

A 住民が記載し、それに基つき書類発行している。

Q デジタル化の推進体制はあるのか。

A システム改修予定のワーキングチームは現在結成中。

Q マイナンバーカードの普及率と今後の目標は。

A 申請率82%、交付率65・9%。100%に向け取り組み。

Q 業務改善に職員研修の実施は。

A 行っている。

Q 内閣府のデジタル専門人材派遣制度の活用は。

A 令和4年度から専門者にアドバイスを受けている。



提言 住民が窓口で、書かない、待たない、回らないで済む窓口対応を望む。

※コワーキング施設：さまざまな年齢、職種、所属の人たちが空間

を共有しながら仕事を行う施設のこと。

Q 小波瀬西工大前駅周辺整備事業の今後は

A 来年度の予算化に向け調整を図っていく



村上 智宣 (高志会)



Q 今後は駅舎移転の方向性となるのか。

A その方向性で協議を進めている。

Q 関係機関への報告の状況は。

A 西工大、小波瀬病院、周辺5区の区長へ報告をしていく。

Q 反応は。

A 賛同を得られていると感じる。

Q 現状の課題は。

A 費用面、構造面、整備時の運営面である。

Q 令和5年度の当初

予算に本事業の予算計上がないが。

A 時間のかかる課題があり、予算計上まで至っていない。

Q 令和5年度中に予算化の見込みは。

A 協議の目途が立てば、補正予算も含め検討する。



九耀橋

Q 予算化されそうなものは。

A 確認、検討業務の委託や測量等が考えられる。

Q 本プランの確実性は。

A 現状確実とは言えないが、最も現実的な方向性として協議を進めていく。

Q イメージ図の計画範囲に九耀橋が入っていないが。

A 行わないと決定したわけではない。

Q 橋の危険性については認識しているか。

A 認識している。

Q 通学路等としても利用されるため、検討してほしい。

A 引き続き検討課題としていく。

Q 事業を進められそうな時期は。

A できるだけ早く着手したいと考えている。

地域の安全対策

手したいと考えている。

推進協議会にて合同点検を行っている。

Q 危険なブロック塀の補修等に補助金があると聞いたが。

A 補助制度を行っている。

Q 防護柵等の対策は。

A 設置基準に基づき、可能な限り設置している。

Q 道路、橋梁のチェック状況は。

A 個別計画を作成している。橋梁については法定点検も行う。

Q 通学路の安全対策は。

A 荻田町通学路安全



一口川 (新津地区)

Q 補聴器購入補助制度創設を願う

A 聴覚障害に起因した障害者手帳を174人保持



梶原 弘子 (無党派)



Q 町内の補聴器使用人数の把握はできて

A 聴覚障害の手帳を持つている人は65歳

Q 認知機能や精神面

に悪影響を及ぼす難聴者を見つける手立てはどう取っているのか。

A 行っていない。

Q 超高齢化社会となり難聴者が増え、65

歳以上のおよそ半数以上が難聴だと推計されているが。

A 障害者手帳の交付基準がある。

Q 郡内の自治体では補聴器購入時に補助金制度を設けているが。

A 聴覚障害者について、国の基準がある中、補助金を案内している。

Q 聴覚の調査はしないのか。

A 調査はしない。

提言 「人にやさしく町を元気に」と町長選挙の公約にある。困った人の声を聴いてほしい。

「子どもの安心安全対策

Q 保育園送迎バスについては。

A 町内保育園で送迎バスは3園。県主催の「安全機能管理徹底研修会」に参加を考えている。

Q 保育士の配置基準については、国は保育園児30人に一人の保育士としているが、町の現状は。

A 園の基準により、園児数で先生の人数は決まっている。

Q 町内の各保育園や育児園等は町管轄なのか。

A 企業が持っている



るもの等があるが、子育て健康課の方でお知らせ等の案内はしている。

Q 町の管轄外の園はあるのか。

A ないと考えている。

国民健康保険

Q 滞納者数は。

A 令和3年度集計で

は、現年滞納者数は、639世帯、過年度も含めて、1208世帯となる。

Q 滞納になった調査はできているのか。

A 最終的に聞き取りをする。

Q 国保税の値上げはあるのか。

A 値上げはない。

苧田町 桜のある風景



表紙の写真



向山公園の桜

議会広報特別委員会

委員長	沖永 義樹
副委員長	友田 敬而
委員	梶原 弘子
委員	小山 信美
委員	榎谷 忠明
委員	村上 智宣
委員	末石 伸二

あとがき

新型コロナウイルスも徐々に収束しつつあり、3月13日からはマスクの着用も任意となりました。飲食店等では、まだまだマスクの着用をお願いするところも多いようですが、これから徐々にコロナ前の状態に戻っていくものと期待しております。令和5年度の予算審議では、様々な議論を経て成立となりました。DX化の推進にかかわる予算も計上されております。令和5年度においても町民の方々に安心、安全をお届けできるように頑張っております。 村上智宣